

新たな鬼北のシンボル 誕生の瞬間

11月20日、道の駅日吉夢産地で「鬼のモニメント除幕式」が開催されました。

午前9時、来場者たちが固唾をのんで見守る中、株式会社海洋堂の代表取締役社長である宮脇修一氏をはじめとする代表者たちの手によって白布が引かれると、ついに「柚鬼媛」が観客の前に姿を

現しました。

慈愛に満ちた優しい眼差しで幼き頃の鬼王丸を抱き、固い絆さえも感じられる親子の姿に、会場内は「わー」という歓声と、盛大な拍手に包まれました。

式典では、甲岡秀文鬼北町長が、「柚鬼媛、そして鬼王丸は、四国西南地域の活力。この2体をつなぐ観光ル―

ト「鬼街道」が、訪れた人に夢とロマンを与える癒しの地になってほしい」と、挨拶しました。

また、鬼のモニメント製作に尽力いただいた宮脇修氏、宮脇修一氏、竹谷隆之、ボーム氏の4名に感謝状を贈呈。宮脇修一氏は、「柚鬼媛が鬼北町の「母」として「妻」の代表として、皆さんに愛される存在になってほしい」と、挨拶しました。

秋の大収穫まつり & ゆずまつり 同時開催！

「秋の大収穫まつり & ゆずまつり」は11月20日、「鬼のモニメント除幕式」と同時開催されました。

ダンスチーム「広蓮」による、可愛さと凛々しさを持ち合わせた踊りで開幕した本イベント。会場には、鬼北町の特産品であるゆずをはじめ、この季節ならではの野菜がずらりと並びました。ゆずを握り潰し、その搾り汁の量を競い合う「ゆず搾りゲーム」や、袋に詰められた野菜を、竹竿を使って釣り上げる「野菜釣り」など趣向を凝らしたゲームで、訪れた人たちを楽しませていました。

また、日吉夢産地オリジナル商品「武左衛門スープ」を使用した鍋レシピの頂点を決める「鬼の目にも涙レシピコンテスト」も開催。

この日は、応募総数14品の中から、厳正な審査を勝ち抜いた2品による決戦投票が行われ、試食をした来場者たちの投票によって、今治明德短期大学調理師専修科の小沢未歩さん、松田優香さん、村上泰輝さんが作った「日吉まるごとすいぎょうざなべ」が優勝の座に輝きました。



1 柚鬼媛の登場にどよめきた会場／2 感謝状が贈られた宮脇修一氏／3 武左衛門太鼓の演奏で、柚鬼媛の誕生を祝う



式典終了後、日吉小学校児童による「武左衛門太鼓」を披露。元気いっぱい演奏で、柚鬼媛の誕生を盛大に祝福しました。また、新たな命の始まりを祝い行われたもちまきでは、まき手側がへとへとになってしまいうほどのたくさんのもちが用意され、大盛況となりました。

この日、柚鬼媛の周りには、終始、記念撮影をする人たちの姿が見られました。



1 柚鬼媛を背に丹精をこめて育てられた「ゆず」を披露する「ゆずまつり」／2 武左衛門太鼓の演奏で、柚鬼媛の誕生を祝う